販売士・ふくおか

発行：福岡販売士協会
平成 28 年 5 月 31 日
第 43 号

「平成 28 年度年次総会」開催

平成 28 年 4 月 16 日（土）：福岡商工会議所

第 43 号目次

■行事
・平成 28 年度年次総会 …1
■協会設立 15 年目を迎えて …7
■会員投稿 …10
■思い出の写真と一言 …22
■会報「販売士」より …23
■大募集！ …25
■協会現況報告 …26

思いがけない「熊本地震」の発生、その後の絶え間ない余震…熊本・大分の皆様をはじめ、被災された皆様の一日も早い復興をお祈りします。

4 月 16 日（土）商工会議所にて「平成 28 年度年次総会」が開催され、福岡商工会議所並びに

長崎販売士協会からのご来賓を含め、総勢 27 名の参加がありました。

総会および講演会・懇親会を通じて、協会活動を共有すると同時に、久々の再会に話が弾み、交流を深め合う会員の姿が見られました。

■第一部　総会　　14:00
　議事（第１～４号議案）
■第二部　講演会　14:30
　福岡県政出前講座「元気な商店街づくり」
■第三部　懇親会　15:15

理事（研修委員長）
１級販売士
岡野 利哉

第一部　総会

総会は、毛利理事の司会にて、定刻 14 時に開会宣言され始まりました。

１．栗川会長挨拶（要旨）

・当協会は平成 14 年 4 月 13 日に設立総会を開催したため、本日の年次総会で 15 年目を迎えた。
・今年の年次総会は合計 27 名の参加である。
来賓：長崎販売士協会より冬木副会長
賛助会員：福岡商工会議所
　会員サービス本部（猪野本部長）
　検定・企業研修グループ（古部聡美様）
・現在の会員数：正会員：89 名、賛助会員：3 社（昨年の年次総会時会員数 88 名のため 1 名増）
・昨年度は全体行事を役員担当制とし、運営及び会報原稿作成を依頼、役員分担体制が確立。
・秋季研修会では会員より講師 3 名を募集、各 20 分の講演が実現した。
・ホームページは岡野利哉理事が担当、特にトピックス欄で最新の情報を頻繁に提供
・会報「販売士・ふくおか」編集は西珠子理事が担当、充実した紙面づくりを実施

２．議事

挨拶に続き、栗川会長により第１～４号議案が提案され、審議を経て、全て承認可決されました。

○第１号議案

会則の変更について

下記のとおり変更を行う旨、提案がありました。
・第 3 章　会員及び会費等「個人賛助会員」廃止
・年会費納入期限変更
【現行】納入期限：4 月末
　会員資格停止：9 月末までに未納入
【改訂】納入期限：9 月末
　会員資格停止：年度末までに未納入

○第２号議案

平成 28・29 年度役員体制について

今年は役員改選年になっており、中野法子理事と礒道友紀理事が退任され、新役員として
松尾宏一理事と大串雅一理事が就任する新役員体制について提案がありました。

平成 28･29 年度　役員体制

会　長：栗川　久明 事務局兼務
副会長：廣瀬　紀子 広報担当
副会長：中村　純治 研修担当
副会長：小関　芳紀 企画担当
副会長：八尋　晃仁 総務担当
理　事：長沼　玲子
理　事：岡野　利哉
理　事：西　　珠子
理　事：横山　修二
理　事：廣瀬　兼明
理　事：毛利　裕之
理　事：松尾　宏一
理　事：大串　雅一
監　事：森山　正夫
監　事：箱森　哲則
顧　問：福生　和彦
顧　問：濱村　昌男
顧　問：渡辺　芳雄
顧　問：高田　暢夫

平成 28･29 年度　委員会体制

◇研修委員会
　委員長：岡野　利哉 副委員長：毛利　裕之
◇企画委員会
　委員長：横山　修二 副委員長：廣瀬　兼明
◇広報委員会
　委員長：西　珠子　 副委員長：大串　雅一
◇総務委員会
　委員長：長沼　玲子 副委員長：松尾　宏一

○第３号議案

平成 27 年度活動実績・収支決算について

栗川会長より、全体会合・個別会合ともに下記のとおり実施できた旨の報告がありました。
なお、＜＞内は担当役員です。

１．全体会合について

（１）平成 27 年度年次総会　＜小関副会長＞
日時：平成 27 年 4 月 11 日（土）
場所：福岡商工会議所Ｂ１－ｂ会議室
参加者：32 名
司会：副会長　小関　芳紀
講演：「最近の販売士検定の動向」
　　理事　岡野　利哉

（２）春季流通施設等見学会
　＜岡野理事＆栗川会長＞
日時：平成 27 年 6 月 6 日（土）
場所：「南福岡自動車学校のマーケティング」を見学
参加者：12 名

（３）夏季研修会　＜中村副会長＞
日時：平成 27 年 7 月 18 日（土）
場所：福岡商工会議所　Ｂ１－ａ会議室
参加者：16 名
司会：理事　毛利　裕之
講演：「社会人大学院とマーケテイング戦略」
　　副会長　中村　純治

（４）夏の納涼家族パーティ　＜栗川会長＞
日時：平成 27 年 8 月 22 日（土）
場所：アサヒビール園博多
参加者：8 名

（５）秋季研修会　＜八尋副会長＞
日時：平成 27 年 11 月 7 日（土）
場所：福岡商工会議所　Ｂ１－ａ会議室
参加者：15 名
司会：副会長　八尋　晃仁
講演会：
「私の人生」理事　横山　修二
「暗号の解き方」会員　三崎　健
「地球が泣いている」大分支部長　溝部　敏勝

（６）新春懇談会　＜廣瀬副会長＞
日時：平成 28 年 1 月 16 日（土）
場所：福岡商工会議所　Ｂ１－ａ会議室
参加者：25 名
司会：副会長　廣瀬　紀子

２．個別会合等について

（１）定例役員会議
日程　5/20、8/5、9/16、12/16、1/20、3/30
時間　19:00～20:30
場所　麻生情報ビジネス専門学校
※12/16 は拡大役員会議として開催しました。

（２）会報「販売士・ふくおか」発行
　第 40 号（平成 27 年 5 月発行）
　第 41 号（　〃　　9 月発行）
　第 42 号（平成 28 年 2 月発行）

（３）ホームページ掲載
本年度も会報および全体行事の内容をホームページに掲載いたしました。

３．平成 27 年度収支決算について

森山監事より監査結果報告がありました。
なお、収支決算は以下のとおりです。

前年度繰越金	186,552 円
収　　入	713,646 円
合　　計	900,198 円
支　　出	651,172 円
次年度繰越金	249,026 円

○第４号議案

平成 28 年度活動計画・収支予算について

今年度の活動計画が提案されました。
なお、＜＞内は担当役員です。

１．全体会合について

（１）年次総会　＜岡野理事・毛利理事＞
日時：平成 28 年 4 月 16 日（土）
場所：福岡商工会議所　Ｂ１－ｂ会議室
講演：福岡県政出前講座「元気な商店街づくり」

（２）春季流通施設等見学会　＜小関副会長＞
日時：平成 28 年 6 月 4 日（土）
場所：「ＴＯＴＯミュージアム」の見学
北九州市小倉北区中島２－１－１

（３）設立 15 年記念夏季研修会＜中村副会長＞
日時：平成 28 年 7 月 16 日（土）
場所：福岡商工会議所　401 会議室
講演：「未定」
講師：副会長　小関　芳紀
※ビンゴゲームの実施、全体写真を参加者に配布

（４）夏の納涼家族パーティ　＜栗川会長＞
日時：平成 28 年 8 月 20 日（土）
場所：アサヒビール園博多

（５）九州販売士懇談会イン佐賀
＜村口佐賀支部長・八尋副会長＞
日時：平成 28 年 11 月 5 日（土）
場所：鳥栖商工会議所　会議室
※福岡販売士協会と日本販売士協会の共催

（６）新春懇談会　＜廣瀬副会長＞
日時：平成 29 年 1 月 21 日（土）
場所：福岡商工会議所　会議室

（参考）平成 29 年度年次総会
日時：平成 29 年 4 月 15 日（土）
場所：福岡商工会議所　会議室

２．個別会合等について

（１）定例役員会議
日時：5/18（水）、9/21（水）、12/21（水）、
3/29（水）　19:00～20:30
※5/18 および 12/21 は拡大役員会議として開催
場所：麻生情報ビジネス専門学校

（２）会報「販売士・ふくおか」発行
会報「販売士・ふくおか」を年 3 回発行します。
（5 月、9 月、2 月）
4 月末までにいただいた原稿→5 月発行誌、
8 月末　〃　→9 月発行誌、
1 月末　〃　→2 月発行誌、
に掲載いたします。
会員のみなさんの投稿をお願いいたします。

（３）ホームページ掲載
本年度も会報および全体行事の内容をホームページに掲載いたします。

３．平成 28 年度収支予算について

下記の収支を予定しています。

前年度繰越金	249,026 円
収　入	628,000 円
合　計	877,026 円
支　出	710,240 円
次年度繰越金	166,786 円

第二部　講演会

今回は、福岡県政出前講座として福岡県商工部中小企業振興課より高宮洋平主任主事を講師にお招きし、「元気な商店街づくり」というテーマでご講演いただきました。

参加会員一同、講演内容に釘付けとなり、終了後の質疑応答においても意見・質問が続出し、活発な会場雰囲気が印象的でした。

講演要旨は以下のとおりです。

◆全国の商店街の数：14,655
（うち 2,600 が東京、福岡は 460）

◆福岡の有名な商店街
①北九州 魚町銀天街
②筑豊 飯塚市本町商店街
③福岡 新天町・川端商店街
④筑後 久留米ほとめき通り商店街

◆商店街のイメージ
シャッター通り、空き店舗だらけ、
暗い、行かない…

◆以前は・・・
（アーケード誕生 60 年記念誌「小倉 魚町銀天街物語」より）
・昭和 30 年代から 40 年代にかけては、人波で通りの向こうが見渡せないほどだった。
・八幡製鉄所のボーナス時期ともなると、買い物客でごった返した。
・当時の大スター、有名スポーツ選手など、北九州に来ればお忍びで魚町を楽しんだ。

◆商店街は賑わっていた
・古くは楽市楽座
・江戸時代の宿場町や門前町
・戦後にかけ、人口増加に合わせて賑わう
・一家そろって商店街へ出かけることは大きな楽しみだった
・商店街のある場所はどの都市でも一等地だった

◆何が変わった？
・車社会になった
高速道路整備、ガソリン安、1 世帯に 1 台保有、地方では生活に不可欠
・街なかの空洞化
住宅地が郊外に、病院等も郊外に、バイパス沿いに大型 SC
・消費スタイルの変化
時間短縮、人に会わずに買い物、たくさんの品物の中から選びたい、セルフサービス

◆県の支援メニュー
・行きたくなる商店街づくり事業
安全・安心で快適な買い物環境づくりのための施設整備や、賑わい創出のためのイベント、空き店舗の活用など、商店街の活性化に向けた取組みを支援（補助金）
まちゼミの開催、運動講座を開講、外国語に対応（ガイドマップ）、
出張商店街、宅配サービス
・プレミアム付き地域商品券発行支援事業
・研修会の開催
商店主や市町村職員、商工会議所、商工会職員をお招きし、商店街活性化のアイデアを出し合うための研修会を開催。
・商店街の方とのプラン検討
地域資源を活用した活性化プランを商店街の方や商工会議所職員の方と協議し、取り組みを支援。

◆まとめ
・時代が変わっても、商店街は必要とされている。
・しかし昔のままではだめ！時代に合わせた変化が必要！
・今後どのような商店街にしていきたいのかを考え、課題を見つけ、できることからコツコツと進めることが大切！

第三部　懇親会

懇親会は、長崎販売士協会の坂口会長および福岡商工会議所猪野本部長のご挨拶に続き、中村副会長の乾杯のご発声で始まりました。

会も中盤に差し掛かった頃、司会の毛利理事の指名順で恒例の参加者スピーチが始まりました。
（スピーチ内容は次頁）

久々の再会と情報交換・交流に話が弾み、時間は瞬く間に過ぎ去り、宴もたけなわではありましたが、最後に小関副会長の締めで散会となりました。参加された会員のみなさま、とても楽しい時間を共有させていただき感謝申し上げます。ありがとうございました。

懇親会の参加者スピーチ

坂口会長（長崎販売士協会会長）

是が非でも参加したかったので、地震の影響で交通機関がストップしているにもかかわらず参加しました。福岡販売士協会の行事に参加することで多々学ぶことがあり、今後ともよろしくお願いします。

福岡商工会議所会員サービス本部　猪野本部長

販売士検定への協力の御礼、名称変更（リテールマーケティング）のこと、試験日程の変更、テキストの改定等説明された。福岡市は、丸井のオープン、天神パルコ、ソラリアの改装、天神コア一体開発等ますます発展販売士の活躍の場が増えることが説明された。

福生和彦氏

栗川会長と同じ平成13年に1級販売士合格し、栗川会長は販売士協会設立に尽力された。15周年をしみじみと感じること、自分は研修会や見学会などの各行事に参加させてもらっている。地震の気象庁の報道についての提言があった。

森山正夫氏

熊本地震について前回が130年前で、災害は忘れたときにやってくるということのお話しがあった。今後の仕事として、北九州市社会福祉協議会の委託業務にて、身障者のためのパソコン教室の仕事をすることになった。

三崎健氏

前回は暗号解読の話であったが、今回は50年前のクイズ番組に出演した際の話があった。九州から、2,000名の応募があり、ペーパーテストの結果全問正解の5名に入り、全国放映のテレビ出演をした青春時代の思い出の話だった。

中島良一氏(広島)

（熊本地震に関連して）、セブン＆アイホールディングス鈴木会長辞任のニュースは流通業界で激震となったことなどの話があった。自身の7-11ジャパンのOFCを経験を交えたお話しであった。

廣瀬兼明氏

オイスカ（財団法人、農村開発や環境保全活動を展開）の活動が忙しく、販売士協会にはなかなか参加出来ないことが多いこと、海外出張があり日本とアジアの国の違いなどについて紹介があった。オイスカの収穫祭日程がずれたので、11月の九州販売士懇談会イン佐賀へ、参加出来る見通しであること、収穫祭にも是非参加をご検討ください、とのことでした。

長沼玲子氏

販売士協会15周年、始めから参加していたこと、1年経過後から会計を担当していたとのこと。今年で会計を他の会員にバトンタッチしたい旨のお話しがあった。（長年、お疲れ様でした！）

戸田利彦氏

最近、佐藤信の本に凝っていること、70歳の手習いでマルクスを読んでいることが紹介され、また入院した期間、新聞にてマイナス金利のニュースに触れ、どう展開するか考えたことが説明された。

高田暢夫氏

1週間ほど前から腰痛に悩まされたが、熊本地震でベッドに大の字で踏ん張っていたところ痛みが楽になり出席出来た。前講座で商店街の活性化は、人口が減っていく限り困難であること、大手企業でない中小企業は一つ目標を決めて徹底して強みを作ることが大切であることの説明があった。

渡辺芳雄氏

新春懇談会時に鉄道の話をした。インバウンド需要は2015年は2,000万人、2020年には4,000万人を目標となっていること。九州はインバウンド需要の主たる目的地となってる。関連して観光バスの需要も高く、生産が間に合っていないことも紹介された。

大串雅一氏（如水庵）

今年度から役員、そして登録講師となったので、社内の社員へ販売士の指導をしていきたい。また、教えるための準備がいかに大切で大変かに気がついたこと、販売士会合の機会がさまざまな情報を得る機会となっている。

横山修二氏

昨年12月に宅建士の資格を取得、登録講習を受講した。一番感激したことはスーツ着用を指導されたことで、今までの仕事は作業着であったので、今後楽しみである。

高山慶司氏

19日に安全衛生管理士1種を受験予定であること、昨年は潜水士の資格取得し、将来水族館に就職出来る可能性を検討、無線資格も取得している。サイクリングの趣味もあり、全国全て走破して人生を締めくくりたいと思っている。

小野村聡太郎氏

本日の講演会で商店街のことが説明された。地域を支えているのは中小企業、地元の小企業であること。今回の地震災害でも地元の小企業者が頑張って貢献し支えている。販売士は、地方を支える事業者、小売業者にとり、強力な武器（？）となる資格である。

村口隆志氏（佐賀支部長）

11月5日（土）の九州販売士懇談会イン佐賀へ是非参加して頂きたい、鳥栖は人口が増え若い企業家が活躍しているとの説明があった。

廣瀬紀子氏

年齢とともに、神社にいくと落ち着く。最近お伊勢参りをした。また最近は『ご朱印女子』が流行っているそうである。

[illegible]路博之氏

年齢は後期高齢者になるが、気持ちは60代、健康のためまた実益を兼ね、週2日はテニス、週5日はポスティングをして歩いている。

岡野利哉氏

健康診断で糖尿病の疑いと診断された。今回の地震時に学校にて仕事をしておりネット通信の不具合が発生した。目に見えるところは地震被害はなかったが、得てして大切なものは見えないところにあることが分かった。

冬木繁雄（長崎販売士協会副会長）

本日は、絶対に来るんだという信念できた。内閣府の要請で東京出張、スピーチの機会があった。環境の変化でモチベーションが高まることがある。定年後、故郷である北九州に戻る計画であり、今後も福岡販売士協会に積極的に参加したい。

協会設立１５年目を迎えて

会長
1級販売士
栗川　久明

４月 16 日（土）に設立 15 年目の年次総会を 27 名参加で開催いたしました。残念ですが熊本・大分地震の影響で７名の方が当日欠席となりました。熊本・大分地震で被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。出来るだけ早い復旧を祈念いたしております。

ご来賓として、長崎販売士協会より坂口会長、冬木副会長にご参加いただきました。また、賛助会員の福岡商工会議所より会員サービス本部猪野本部長と検定・企業研修グループの古部聡美さんにご参加いただきました。

今年の年次総会時会員数は正会員 89 名で昨年の年次総会時より１名増となりました。

昨年度は全体行事を役員担当制にして、運営及び会報原稿作成をお願いし役員分担体制が整いました。

秋季研修会では会員より講師３名を募集し、応募いただいた横山修二さん（私の人生）、三崎健さん（暗号の解き方）、溝部敏勝さん（地球が泣いている！）に各 20 分のご講演をいただきました。

当協会の決算書は協会発足時より長沼玲子理事に担当していただいており、昨年度は大幅な次年度繰越金を計上することができました。懇親会の会費を 3,500 円に値上げしたことも貢献いたしました。

当協会のホームページは岡野利哉理事が担当してくれており、特にトピックス欄で最新の情報を頻繁に提供できました。

また、会報「販売士・ふくおか」編集は西珠子理事が担当してくれており、5 月発行の第 40 号は 22 ページ建て、9 月発行の第 41 号は 24 ページ建て、2 月発行の第 42 号は 30 ページ建てと充実した紙面づくりができました。

今年度は２年に１回の役員改選の年であり、中野法子理事と礒道友紀理事が退任され、新役員に松尾宏一理事と大串雅一理事が就任されました。

当協会の特色は年次総会で年間活動計画を提示して計画に沿った活動を着実に実施してきていることです。今年度の活動計画は別ページに掲載していますのでご予定をお願いいたします。

今年もホームページによる活動状況の速報、会報「販売士ふくおか」の掲載等により新会員獲得を目指していきます。

参考としてこれまでの年次総会時の会員数推移を記載しておきます。

H14 年設立総会時：80 名、H15 年：93 名、
H16 年：96 名（MAX）、H17 年：88 名、
H18 年：84 名、H19 年：82 名、
H20 年：83 名、H21 年：85 名、
H22 年：72 名（MIN）、H23 年：73 名、
H24 年：77 名、H25 年：84 名、
H26 年：89 名、H27 年：88 名、
H28 年：89 名

今年の年次総会での講演は「元気な商店街づくり」というテーマで、福岡県政出前講座をお願いしました。

会員の皆さんでこんな講演を聞きたい、または自分でこういう講演をしたいという方は事務局までご連絡をお願いします。

参考までにこれまでの当協会の全体会合での講演の一覧をまとめてみました。

H14	総	「消費不況にどう対処するか」 ㈱ミスターマックス平野比左志会長
	夏	「販売士検定をとりまく状況」 福岡商工会議所　橋本修治部長 「繁盛店に学ぶ商売のコツと心構え」 槙本健次会員 「生き生きとした組織へのアプローチ」 小野宗利監事
H15	総	「思考と分かち合い」 長崎販売士協会　富永広道会長
	夏	「博多の町の歴史について」 福岡市民の祭振興会 岡部定一郎会長
	交	「企業経営にかける情熱」 ㈱如水庵　森恍次郎代表取締役
H16	総	「食の現状を検証する」　泉享理事
	夏	「小売業におけるチャネル政策の一考察」　山崎良一会員
H17	総	「販売士の光で夢実現を」 大原盡顧問
	夏	「流通業界と法規制」 高田暢夫会員
	交	「女性客が集まる販売マーケティング」 仙波敬子会員
H18	総	「現場から見た伸びる企業と衰退する企業」　遠藤真紀会員
	夏	「セールスマネージャーのあり方への提言」　石原義曠副会長
H19	総	「新規事業への挑戦」 福田紘司会員
	夏	「販売士制度の現状と3級講師としての雑感」　窪田靖雄会員
	交	「九州の火山」 九大地震火山観測センタ長教授 清水洋
H20	総	「日本販売士協会の活動と流通・小売業界等の人材育成・確保」 日本商工会議所　立松裕之部長
		「福商サービス部の活動状況と九州観光マスター検定」 福岡商工会議所　三角薫部長
	夏	「九州観光マスターと販売士との接点」 中村学園大学　片山富弘教授
H21	年	「教育におよぼす販売士検定制度」 福ECOコミュニケーション専門学校 東秀弥学科長
	夏	「企業の社会的責任とレビューマネージメント」 中村学園大学　山田啓一准教授
	交	「食の安全と正しい情報の提供がお店を救う」 ㈱石村萬盛堂石村善悟代表取締役社長
H22	総	「福岡の魚が美味しい」 福岡県出前講座　佐藤博之技術主査
	夏	「九州新幹線鹿児島ルート」 福岡県出前講座　谷川清敏参事
H23	総	ご存知ですか？福岡県のブランド農産物」 福岡県出前講座　重松秀行係長
	夏	「夢実現講座」 長崎販売士協会　坂口雄一会長
H24	総	「福岡販売士協会10周年を迎えて」 栗川久明会長
	夏	「販売士講座～商業高校での授業展開と課題」　岡野利哉理事 「接遇について」吉田由美子会員
	秋	「店舗開発について」佐々木葵会員 「観光産業の未来予想図」 八尋晃仁会員
H25	総	「悪質商法にだまされない」 福岡県出前講座　山内文恵企画主査
	夏	「日本の元気シニア世界遺産の旅」 山路博之会員
	交	「ランチェスター戦略」馬場拓会員
H26	総	「アジアの交流拠点福岡を目指して」 福岡県出前講座　垰本企画監
	夏	「英国工場立ち上げ体験談」 会長　栗川久明
	交	「商店街の活性化対策」 大分県出前講座　武藤康彦課長

H27	総	「販売士検定試験の動向」 理事　岡野利哉
	夏	「社会人大学院とマーケティング戦略」 副会長　中村純治
	秋	「私の人生」 理事　横山修二 「暗号の解き方」 会員　三崎健 「地球が泣いている」 大分支部長　溝部敏勝
H28	総	「元気な商店街づくり」 福岡県商工部中小企業振興課 主任理事　高宮洋平

※総：設立総会・年次総会　夏：夏季研修会
秋：秋季研修会　　交：九州販売士交流会

今年の春季流通施設見学会はすでにご案内をお送りしていますように、6月4日（土）に北九州市小倉北区の「TOTO ミュージアム」を見学します。「TOTO ミュージアム」は衛生陶器、水栓金具、食器をはじめとした過去の水まわり製品や資料 を展示。約一世紀に渡る TOTO のものづくりの歴史だけでなく、日本の水まわり設備の 進化をご覧いただけます。

「今後こんなところを見学したい」というご希望がありましたら事務局にご連絡ください。

参考までにこれまでの流通施設見学会の見学場所一覧表をまとめてみました。

H18	春	イオン福岡伊都ショッピングセンター
	秋	鳥栖プレミアム・アウトレット
H19	春	ランテック福岡支店流通センター及び冷凍倉庫 コストコホールセール店
	秋	トヨタ自動車九州宮田工場
H20	春	九州電力玄海エネルギーパーク
	秋	キューピーマヨネーズ鳥栖工場
H21	春	イオンモール筑紫野
	秋	不二家吉野ヶ里工場
H22	春	北九州エコタウン
	秋	イオンモール福岡ルクル
H23	春	JR 博多シティ
H24	春	イケア福岡新宮店
H25	春	株式会社「さかえ屋平恒工場」
H26	春	北九州市八幡東区の「イオンモール八幡東」と「いのちのたび博物館」
H27	春	「南福岡自動車学校のマーケティング」

※春：春季研修会　秋：秋季研修会

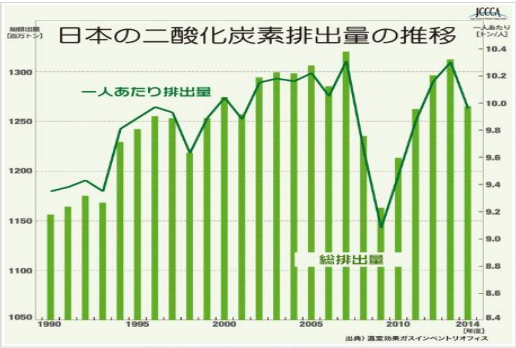
今年度1年間活発な協会活動を展開していきたいと思います。みなさんのご参加・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

会員投稿

『地球が泣いている』
～環境家計簿編～

大分支部長
１級販売士
溝部　敏勝

日本の CO2 排出量は増加傾向にありましたが、2009 年はリーマンショックの影響を受け産業部門の操業度が低下して大きく減少しました。**（グラフ１）**

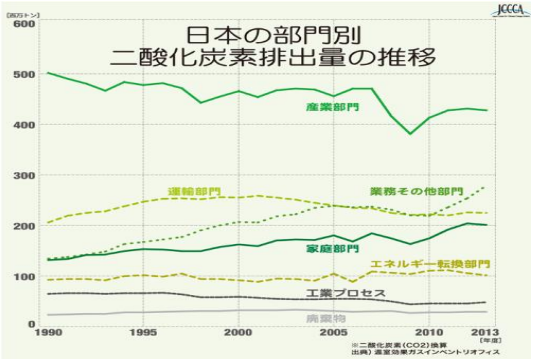


〈クリックすると拡大画像が表示されます〉
出典）温室効果ガスインベントリオフィス

【グラフ１：日本の二酸化炭素排出量の推移】

その後 2011 年に発生した東日本大震災により福島原発が被災して、国内原発が全て停止する事態となりました。停止した原発の代替えとして、石油、LNG、石炭を燃料とする火力発電を増やして電力需要を満たしています。こうした電力構成の変化と、産業部門の復活により CO2 の排出量は増加していきました。

2014 年度の CO2 排出量は、12 億 6500 万トンで、前年比 3.4%減でした。部門別排出量は、産業や運輸部門が排出量を削減していく中で、家庭部門の CO2 排出量は増加の一途をたどっています。**（グラフ２）**



【グラフ２：部門別二酸化炭素排出量の推移】

この傾向を重く見た環境省は地球温暖化防止の目的で「環境家計簿」の普及を促しています。

環境家計簿とは、家庭で使う電気、ガス、水道、ガソリンなど燃料種類別の使用量に「**CO2 排出係数**」をかけて、それぞれ家庭の CO2 排出量を算出したものです。**（表１参照）**

エネルギーの使用　　**CO2の排出**

項　目	使用量	× CO2排出係数	= CO2排出量
電　気	kWh	× 0.617	=
都市ガス	m3	× 2.21	=
LPガス	m3	× 6.5	=
水道(上下水道)	m3	× 0.48	=
灯油(石油ヒーター等)	L	× 2.5	=
ガソリン(自動車等)	L	× 2.3	=
ゴミ(可燃ゴミ)	kg	× 0.34	=
CO2排出量の合計(二酸化炭素換算)			kg-CO2

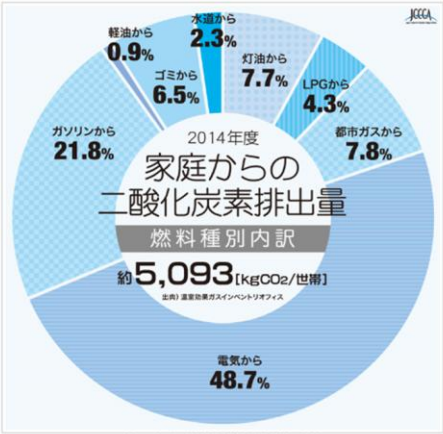
上記排出係数は2015年4月現在の最新値(電気2013年度,都市ガス2013年度,その他は2006年度値)です。

【表１：エネルギーの使用】

日常生活の中で CO2 排出量を「**見える化**」して自家の生活行動を点検し、自主的に CO2 の排出抑制につなげて国全体として排出量を削減していこうとするものです。

例えばある月の電気使用量が、600kWh の場合、CO2 排出係数の 0.617 を掛けて、CO2 排出量 370kg を算出します。CO2 排出係数は、都市ガス m3 当り 2.21、LP ガスm3 当り 6.5、水道 m3 当り 0.48、灯油 L 当り 2.5、ガソリン L 当り 2.3、をそれぞれ使用量ごとに乗じて値を求め、毎月集計して年間使用量としてまとめます。2014 年度、国内一般家庭の平均 CO2 排出量は年間、**5,093 トン**でした。**（グラフ 3）**

家庭からの二酸化炭素排出量（世帯当たり、燃料種別）

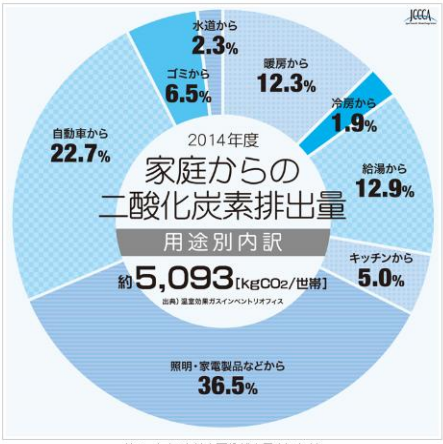


（クリックすると拡大画像が表示されます）
出典）温室効果ガスインベントリオフィス

【グラフ３：家庭からの二酸化炭素排出量（燃料種別内訳）】

用途別では「照明・家電製品」と「自動車」関連の排出量が多く、２つの分野で約６割を占めています。**（グラフ４）**

家庭からの二酸化炭素排出量（世帯当たり、用途別）



（クリックすると拡大画像が表示されます）
出典）温室効果ガスインベントリオフィス

【グラフ４：家庭からの二酸化炭素排出量（用途別内訳）】

日本航空の稲盛名誉会長（京セラの創業者）は地球温暖化の現在の現象を「沈む船の中で奢侈や飽食を楽しんでいるようなもの」と表現されています。

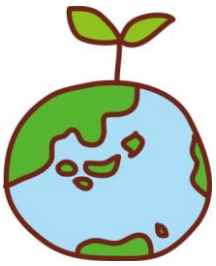
一昨年、韓国の「セウォル号」が仁川港から済州島へ向かう途中、海に沈んでいく様子をテレビ映像で見ました。この事件は船の沈没で多数の乗客が海の中に沈められ、尊い命を奪われた悲しい出来事として深く印象に残っています。乗船して亡くなられた人々は船が傾き、閉じ込められた船内から見える窓の景色が海上から海水へと移り変わっていくにつれて、どんな思いで過ごし死を迎えたかを察すると哀れでなりません。おそらく奢侈や飽食を楽しむ余裕などなかったと思います。

地球温暖化は「先送りのできない不幸な出来事」だと思います。WCED（環境と開発に関する世界委員会、world Commission on Environment and Deveropment）報告書では、「**持続可能な発展**」を、「将来世代のニーズを損なうことなく、現在の世代のニーズを満たすこと」とし、世代間の公平性を強調しています。また同報告書は、現在世代内の先進国と途上国との間の公平性の重要性も指摘しています。例えば、「**共通だが差異ある責任**」を、「先進国も途上国も地球保全に責任を負う点では共通です、しかしこれまで環境に負荷をかけて発展を遂げた先進国と、これから発展しようとする途上国の間には責任の程度に差を認める」という考え方です。

環境家計簿作成は月一回の労力で済みますし、エクセル等を活用すれば計算や集計時間を必要としません。まだ環境家計簿を導入されてない家庭におかれましては、現状把握の意味で取組んでみてはいかがでしょう。

私たち庶民が地球温暖化防止活動を進めるには、自家の CO2 排出量を把握することがスタートとなります。そして全国平均基準値や優良家庭との比較、前月、前年度実績からの改善プランを作成して実行し、その結果を検証して再度計画を見直していくことの一連のプロセスを繰返すことで、マネジメントスパイラルアップにつなげることが必要かと考えます。

環境家計簿に使用金額も表示することで電力量やガソリン等、エネルギー使用量を削減し続けることが、限りある資源節約による後世代への資源先送りと CO2 排出量の削減をもたらすと同時に、家計の支出金額も減らすというトリプル効果を追い続けることができます。



『2015 ニッポンの元気シニア世界遺産紀行　中国編（その５）』
～東北・華北・華中・華南・西南エリア～

１級販売士
山路　博之

１．はじめに

私が 2011 年から毎年続けている私のライフワークである世界 5 大陸世界遺産の旅も 2015 年まで 5 年間で総旅日数は 254 日間、現地での総移動距離約 7500 km、144 か所の世界遺産訪問となった。大陸別にはユーラシア大陸（ヨーロッパ、中国）、北アメリカ大陸（アメリカ、カナダ）とまだ旅半ばである。現在 73 歳である私には、年齢的に今後この旅がいつまで続けられるかわからないが、できる限り継続していきたい。私は旅の間、毎日旅日記を書き溜めている。私の夢である旅日記を本にして出版したいからである。
今回も前回に続き、私の旅日ニッポンの元気シニア世界遺産紀行・中国編」の一部をご紹介したい。現在の中国や私の感じたことを少しでもご理解頂ければ幸いである。

２．私の旅日記の中からの抜粋（前号の続き）
【7 月 25 日】800 年余りの歴史をもつ町並みが残る世界遺産「古都麗江」

昨夜昆明を出発した列車が古都麗江（れいこう）に近づき、私は今夜戻る昆明行の列車の切符を再確認する。これまで行先と日時をチェックしていて問題なかったが、昆明行の出発時刻をチェックすると今日の朝 08:08 となっている。今乗っている列車の麗江到着が 07:50 なので、これは使えないと、あわてて駅到着後すぐ窓口に行き、今夜の列車に変更をお願いすると、窓口から SOLD OIUT の返答のみ。今夜漓江から昆明行が 5 列車あり、どの列車でも OK ですからと言うが、全部売り切れ。仕方なく立ち席でお願いするとそれも売り切れとの返事で万事休すだ。1 列車 2,000 人くらい乗れるので、今夜だけで 1 万人の客が麗江を出発するのかと思うと、この地の人気度がうかがえた。

しかし私がこの切符を含め数枚の切符を数日前に他の駅の窓口で購入する時、紙に行先、日時、列車番号を書いて窓口に渡したのに、切符を渡された時は時間を変更したとか何の説明も無く、てっきり希望の切符が全部購入できたと思っていたので、窓口の間違いだと主張したがつれない返事は変わらなかった。キャンセルして 2 割の手数料を取られ、気が収まらないままどうすべきか考え、バスに変更しようとガイドブックに従いタクシーでバスターミナルに向かう。

バス切符売場で昆明行と言うとこのターミナルからでなく別のターミナルだという。仕方なく急ぐのでまたタクシーで行くが、タクシーを止めるとおばちゃんの運転手が 20 元と吹っかけてきた。私は No と言うと、次に来たタクシーの運転手は 15 元というので、OK と返事し急ぎ向かい 10 分で到着。19:30 発の昆明行寝台バスの切符が買えた。220 元（4400 円）と列車の普通席 89 元（1800 円）より高いが、寝台バスなので仕方がない。その時間まで麗江を見学する準備ができて元気になった。

麗江は標高 2,400m の町で、駅を降りると目の前に頂上付近に万年雪を頂く 5,596m の玉龍雪山が見える。この地に住む少数民族ナシ族が崇拝する神々の宿る神秘の雪山として知られている。ここは高地なので夏でも肌寒く、ジャケットを着た人が目立つ。

この町の歴史は 800 年余り前に遡る。チベット文化、中国文化を吸収し独特のトンバ文字と称する象形文字を持つ少数民族ナシ族がこの町を作り上げ独自に統治し、現在もこの地に多く暮らす。ナシ族の総人口は約 31 万人、元来母性社会で、家庭での女性の地位が高く一妻多夫制をとっているとの事。

バスターミナルの前の店で簡単な朝食を取り、世界遺産の古い町並みの漓江古城に近いので歩いて向かう。明、清代の古い木造建築が残る町並みで美しい旧市街で、網の目のように細い石畳の通りと小川が入り組んでいる。今日は土曜日で狭い歩道は多くの観光客で溢れかえっていたが、午

後は日差しが強くなり多くの客は各店に入り、昼食を取ったり休んだりしている。私は限られた観光時間なので精力的に名所を歩いて廻る。中でも木府（もくふ）は入場料 70 元（1400 円）が 70 歳以上は無料なので、ゆっくり見る。

ここは元、明、清の３つの王朝に 22 代 470 年にわたって麗江地域の統治を委ねられたナシ族の豪商だった木氏が 1382 年に麗江古城の自衛のための施設との事。チベットとの交易で富を蓄えただけあって広大な宮殿式建築群は豪華で、周りに並ぶ古城地区の家並みとは比較にならなかった。その後獅子山公園に登り、眼下に麗江古城の全景が見え、灰色の屋根が広がる家並みを眺める。麗江古城は映画「単騎、千里を走る（2005 年・高倉健主演）」の舞台になった所でもある。街中はナシ族の民族衣装を着た女性たちが物を売ったりしてカメラを向けると金をせがまれた。

夕方 19:30 の寝台バスに乗り夕日を眺めながら昆明に戻る。バスは 3 台も増発され観光客の多さがわかった。増発されたおかげで私も乗ることができたので、バス会社の商魂の逞しさに感心するとともに、私を含め多くの観光客は昆明行に乗れたのでバス様々で有難かった。

左上：世界遺産・麗江風景、右上：筆者
左中：民族服のナシ族の女性達、
右中：獅子山公園から見る麗江、
左下：トンバ文字（象形文字：中に山路の字が見える）

■「単騎、千里を走る」・題名は「三国志演義」の第 27 話にある関羽が一時仕えていた曹操のもとを出奔して旧主劉備のもとへ帰った故事「六将を斬りて五関を過ぐ」を独立させた小説「千里単騎走」から。
■高倉健（1931～2014・日本の俳優、中国では 1979 年に公開され大ヒットした「君よ憤怒の河を渉れ」で人気を博し最も有名な日本人となる）

【7 月 26 日】雲南省・昆明の「雲南民俗村」

昨夕出発した麗江からの寝台バスは昆明の郊外の東部バスターミナルに早朝 7 時到着。鉄道の昆明駅に行き、夕方桂林に行くので駅で荷物を預け路線バスで雲南民俗村に向かう。

昆明は雲南省の省都で人口は 542 万人で標高 1900m の高原にあり、1 年中春のような気候から春城と呼ばれている。また、26 の少数民族が住んでおり、各少数民族の料理が食べられる。昆明は 2400 年の歴史を持つ町で、現在雲南省はベトナム、ラオス、ミャンマーと国境を接し、隣り合う東南アジア諸国との関連を強化しているとの事。

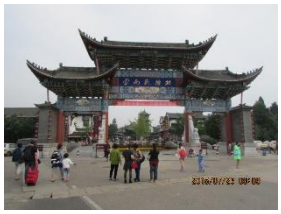
雲南民俗村は雲南省に居住する少数民族の小さな村が園内に築かれたテーマパークで、各村で特徴ある民族衣装を纏った各民族の男女が出迎えてくれ、彼らの生活様式や文化に触れることができる。

私は入場料 90 元（1800 円）も 70 歳以上は無料で入場。この分ここで民族料理を食べる事に使おうと思った。今日は日曜日だが入場者は意外に少ない。まず民族村全体を紹介する大型ビデオを見る。広い敷地に各民俗村は別れているが、全部回るのは短い滞在時間では無理なので、聞き覚えのある民俗村を中心に回る。中には民族衣装のスタイルや衣装の色に特徴がある。広場で各民族の伝統の踊りを紹介して多くの観光客を集めている民俗村があった。どこも若い男女が中心となって PR しガイドしているが、美しい若い女の子達が多かったのが印象的だった。私は蒙古族の村でミルク茶を飲み、昼食にペー族（白族）の村の店で民族料理を食べる。

中国は多民族国家で 56 の民族がそれぞれの文化や言語を持っている。漢族が 12 億人以上で、

全体の 90%以上を占め、55 の少数民族は 1 億 233 万人（2005 年調査）で全体の 9.44%を占めている。中国政府の少数民族に対する民族政策は、内蒙古自治区、広西チワン族自治区、寧夏回族自治区、新疆ウイグル自治区、チベット自治区など民族自治区という少数民族政策を取り、その民族ごとに集住地域を「区域自治」の領域として指定している。そこでは「民族の文字・言語を使用する権利」「一定規模の警察・民兵舞台の組織権」「区域内で通用する単行法令の制定権」などを行うことを認めている。

民俗村の前にある「雲南民族博物館」に行くが、入場者は少なく無く閑散としていた。ここで各少数民族の文化や各民族の特徴などを知る。私は特に各民族が作成した特徴あるお面に興味を持つ。



左上：昆明・雲南民族村入口、右上：民族村の地図
左中：蒙古村のテント、
右中：中に飾られたジンギス・カーンの絵
左下：民族の伝統の踊り

昆明発 15:40 の寝台列車に乗車、1,408Km 先の桂林に向かう。久しぶりの寝台でゆっくり休める。桂林まで 261，5 元（約 5200 円）と高いが、若い女性客が多い。多分彼女達は自分のポケットマネーでなく両親からお金を出してもらっているのだろう。青い色のチケットを持っており、自宅からインターネットで買っているから、そのように想像した。

夕方の時間、窓際の席に座り景色を眺めていると、横にインテリ風の男性が居たので話しかけると英語が抜群にうまい。聞くと大理大学(雲南省)の英語の先生で桂林の英語学会に参加するための出張中とのこと。お互い自己紹介をする。彼は 33 歳で彼のニックネームは JOE、私は HANK とお互いニッケネームで呼び合う。彼と 1 時間ばかり様々なテーマで話し合う。特に私が彼の意見を聞きたかったのは、中国の大学の状況と 1 人っ子政策についてだった。

中国の大学状況について彼の説明によると、現在中国で高等教育機関は約 2,600 校以上あり、そのうち大学・短大の数は 1,900 校程との事。毎年 700 万人程卒業しているので、総学生数は 3 千万人程いるのではとのこと。彼が教える大理大学にも 3 万人の学生がいるとの事。中国の高校生は卒業して 50%近くの学生が上の高等教育を目指すらしい。大学も大学評価ランキングが発表され，A クラスの大学は清華大学、北京大学、浙江大学など 30 校ほど、次に B クラスの大学が 100 校程あるとのこと。問題は卒業時の就職で、75%が就職、残り 25%が大学院へ進学するか、職に就けない人たちだ。人気のある仕事は政府や官庁の役人とのことで 25%の学生がその方面に就職するとの事。日本の国公私立合わせた大学数が 779 校(私立 604 校、国公立 175 校、2015 年文科省調べ)、学生数が 286 万人だけに如何に中国の大学生が多いかがわかる。

当然、仕事につけない学生たちも出ていることが高学歴社会の問題で、そのため大学入試は各大学別でなく全国一斉に行われる一度の試験で、希望する大学に入学できるかが決まるらしいが、一度の試験で大学入学先が決まるのも問題で大学入試改革や改善が進められているとのこと。

1979 年から実施された人口抑制のための**1 人っ子政策**も、少子高齢化が進み 2014 年から「夫婦のどちらかが一人っ子の場合は、2 人目の出産を認められ、現在は 2 人目の子供を持つことが条件付きで認められている。その条件に合わないで 2 人目を持つと、特別にお金を払えば認められてい

るとの事。私はしかし子供を産む、産まないかを決めるのは各夫婦の権利であり、中国共産党政府が介入しそれを決めるのは基本的な人権侵害であると思うと述べる。

しかし、中国の人口は約 13 億 6,072 万人（2914 年）と中国国家統計局が人口統計データを発表しているが、中国に国勢調査があるわけでもなく、あくまでも推測に過ぎず正確な数字ではない。私はある中国人から、総人口は 18 億人位居るのではというとてつもない数字を言う人もいたが、あながち疑えない数字だ。一人っ子政策の為に戸籍のない家庭が農村など結構いるらしいのがその根拠らしい。帰国後、中国で「一人っ子政策」が廃止され、「二人っ子政策」が導入されたとの報を得る（下記）。

■中国が一人っ子政策を撤廃　　2 人目を正式容認
「二人っ子政策を導入」　　労働力不足　成長の足かせ
中国共産党は 2015 年 10 月 29 日、1979 年以来続いた一人っ子政策を終わらせると発表した。都市部に住む全ての夫婦が 2 人目の子供を持つ事を申請・認可手続きなく認める方針という。少子高齢化対策への懸念から、政策転換の圧力が強まっていた。人口抑制のために導入された一人っ子政策で、4 億人の誕生が抑制されたと推測されている。政策に違反したカップルには、罰金から失職、強制的な堕胎・人工中絶の横行にいたるまで様々な罰則が与えられてきた。戸籍のない子供が社会的不利益を受け、女性や子供の人権侵害という負の側面もあった。
その一方で、政策遂行の社会的コストや労働人口や就業年齢人口（15～59 歳）の減少から、政策継続に警鐘を鳴らす専門家が増えたため、地域によって例外を認める所も増えていた。中国共産党は 2 年ほど前から徐々に政策を緩和し始め、夫妻の少なくとも片方が一人っ子の場合は 2 人目の子供を持つ事を容認するようになっていた。新華社が伝えた共産党中央委員会の声明では、子供を 2 人持つ事を認める決定は「均衡のとれた人口の発展を改善し」、高齢化に対応すると説明している。現在の中国の人口は 13 億 6000 万人で、そのうち約 3 割が 50 歳超。中国の人口は 2020 年代にピークに達した後、減少に転じると予測されてきた。「二人っ子政策導入」により 2030 年の人口は 14.5 億人になり、労働人口は 3 千万人増加すると予測されている。

夕食時間になり、車内販売の弁当を買って食べようと思うが、弁当売りが来ない。JOE さんは他の客と同じように 5 元のカップ麺を食べるので、私もカップ麺を買って食べる。昨年のシルクロードの旅では、私は列車の中でカップ麺を食べる気がせず一度も食べなかったが、今回の旅では、郷に入れば郷に従えの諺通りカップ麺を食べる機会が多かった。その後すぐ眠れるように 58 度の中国酒を少し飲み寝台に横になる。

【7 月 27 日】山水画の風景が目の前に広がる桂林

寝台列車ではよく眠れたが、朝 5 時頃目が覚めた。それは隣の寝台に寝ている中年男性の凄い鼾によるためで、そのため以後眠ることはできなかった。明るくなり外を見ると雨が降っている。桂林（けいりん）に近づいたのか、所々に山水画で見かける奇岩が見える。それを眺めながら JOE と昨夕の話の続きをする。彼はイタリア・トレドの大学に留学した時のことや私が 72 歳で世界中の世界遺産の旅をしていることに関心を寄せていろいろ聞いてきた。私のこの 5 年に渡る世界遺産の旅には羨ましいし自分もいつかそのような旅をしたいと言った。

桂林駅に 9 時半着。宿の予約したユースホステルは駅前の裏通りにあった。まずこの 3 日間シャワーを浴びていないので、ゆっくりシャワーを浴びる、中国元への両替をしないといけないので、宿の受付で近くの銀行の場所を調べてもらうが全く間違った場所を教えて貰ったが、街を歩く事は観光と思えば問題ない。結局桂林の中心街の中国銀行で両替してこれからの金の心配がなくなった。

桂林は広西チワン族自治区にあり、山水画の風景が眼前に広がる人口 522 万人の、この地方の政治と経済、文化の中心地だ。町の北から南に流れる漓江（りこう）沿いには、雨水で浸食されたカルスト地形が生み出した山水画のような景観が続く。

私はいつものように地図を片手に桂林市内を歩くが、漓江が町のいたる所を巡って流れており、どこも同じように見えて、自分が今どこを歩いて

いるのか迷ってしまうほどだ。街中にも山水画で見る奇岩が見える。明日は私の念願だった漓江下りをするが、今日は夜の漓江ナイトツアー（160元）で楽しむことにしたので、宿の受付でチケットを購入。

左上：列車で一緒になった JOE（右）
右上：桂林で埠頭まで一緒の受付嬢と
左下：ナイトツアーの一行、
右下：ライトアップされた風景

宿で夕方5時に明日の漓江下りのチケット(350元＝7,000円）をトラベル会社の人から受け取ることになっているので戻る。チケットは日本からインターネットで予約していた。担当の陳飛氏は日本語が上手で、彼に明日船が出発する20.KM以上先の竹江埠頭まで、路線バスも無さそうでタクシーで行くしかないので、どうしたら良いか相談すると、彼は明日8時10分に来て自分のバイクで送ってあげる。そのかわり自分の会社のホームページの書き込みに日本語で推薦のコメントを書いてくれと要望してきた。私もそれは全く問題ないと同意した。漓江ナイトツアーの出発地がわからず、受付の女性に聞くと、私が一緒に行ってあげると言うので、路線バスで現地に向かう。そこは昼歩いて行った所だが、船は10隻もあり観光客で溢れかえり、受付の女性はチケットを手配するおばさんをやっと見つけチケットを入手し乗船する。もし自分一人で来ていたら、切符を手配したおばさんは見つけられなかったし、どの船に乗れば良いのかもわからなかっただろう。19時50分発の船に乗り込む。私が座ったテーブルには四川省・成都から来た小さな娘さん連れの一家と山東省から来た6歳の息子と英語が話せる一緒の父親で、私も自己紹介して英語と筆談で彼らと話す。彼らも日本人である私に興味を持っていろいろ聞いてきた。楽しい90分のナイトツアーであった。夜見る漓江はライトアップされた塔や湖岸の景色がきれいであった。終点地が出発地と違い、帰るのに一苦労するがなんとか路線バスで宿に戻ることができた。

【7月28日】山水画の風景を楽しむ「漓江下り」

今日は私の今回の旅のハイライトの一つである桂林・漓江下りの日だ。旅行社の陳飛さんと宿の前で8時10分にバイクでピックアップしてくれる約束なので、近くの屋台で朝食を取り早めに待つ。彼は5分ほど遅れて迎えに来てくれた。バイクは私が日本で毎日乗る50CCの小型バイク。私だけ日本の規則に倣いヘルメットをかぶりバイクの後ろに座り、運転する彼の体に後ろから抱き付くようにしがみついて乗る。バイクはラッシュアワー時の市内の混雑した道路を抜け、竹江埠頭まで18㎞と書かれた高速道路に入り猛スピードで走る。高速道路は竹江埠頭に向かう大型バスが我々のバイクを追い抜いていくが、もし事故でも会えば大変なので、私は態勢が傾いても彼にしがみついたままだ。約50分ほどバイクに乗りやっと目的地竹江埠頭に着く。着いた途端彼も疲れていたらしく、汗を拭きながらお互い無事に着いたことに安堵する。彼にチップ30元を上げ、彼のHPに良いコメントを書く約束をして別れる。もしタクシーを利用していれば100元以上かかっているだろう。道中彼とはいろいろ日本語で話す。彼は31歳で2年前に結婚、マンションを購入、毎月ローンで2000元（4万円）を20年支払わないといけないとの事。全部で1千万ほどになり、中国では大変な支払い額になり、彼の生活も苦しく奥さんも働いているとの事。これが中国の平均的サラリーマンの姿なのだろう。
竹江埠頭は外国人客専用の埠頭で、ホテルからチャーターされたバスが次々に到着し外国人観光客でにぎわう。彼らは桂林のホテルから送迎バス

と船賃、昼食込で金額は当然私の 350 元でな 450 元以上するとの事。
漓江下りの船は 9:30 分発、これから陽朔までの 83 km約 4 時間程の船旅だ。
漓江は全長 437 km、特に桂林から陽朔までの 83km は、漓江の流れのなかでも素晴らしい風景で奇岩が林立する山水画の世界を見せてくれる。私は景色を楽しむために上階の甲板へ向かう。ツアー船は 7 隻が一定間隔で一斉にスタートし、まるで戦場に向かう軍艦のようだ。甲板からは 360 度見渡せる。私は同じく甲板で風景を楽しむスイス人夫婦と話し、お互い写真を撮りあう。また 2 人の日本人老人と話す。京都から来た 76 歳と 70 歳の方々で、何度かここにも来ているので漓江には詳しくいろいろ教えてもらう。私はガイドブックを見ながら蝙蝠山、九龍戯水、望夫願、冠岩幽洞、波石煙雨、華果山、そして特に有名な九馬画山等素晴らしい奇岩の風景を堪能しながら風景を楽しむ。この後、昼食を取りに階下のレストランに行く。ロンドンから来たイギリス人家族 5 人と同席。彼らとお互い自己紹介しながらいろいろ話す。ご主人は 58 歳で 2 週間の夏休みに中国旅行を楽しんでいて、特に黄山が良かったとの事。彼らは初めて来た中国にいたく感心していた。最後の 1 時間余りは見せ場もなく、陽朔に 1 時着。私は下船して陽朔市内の観光を兼ねて、桂林へ戻るバスターミナルに向かう。陽朔郊外にありターミナルに近づくと今まで晴れていた空から急に雨が降り出してきた。
陽朔は小さな町であまり見るところもないので、仕方がないこのまま桂林に戻ろうと計画変更。バスは満員になるまで出発しないので、空席が数席ある出発間際のバスに飛び乗る。桂林へ戻るバス道路の両側にも奇岩が見え、漓江下りと同じように素晴らしい風景が続く。3 時過ぎに桂林着。

私は夜 21:40 発の列車で南昌に向かうが、時間が十分あり桂林の街中や裏通りを歩く。名所の象鼻山（ぞうびさん）に入ろうと窓口で幾らかと聞くと、130 元（2600 円）もする。72 歳だというと半額との事。桂林では既に予算以上に使ったので、入場を諦める。列車は桂林北駅から出発するので、桂林駅前から夕方 6 時半に路線バスで向かうがラッシュアワー時刻で、列車では次の駅だがバスで 1 時間もかかった。しかし運賃は 1 元で、満員のバスで若い男性に席を譲られ窓からの風景を楽しむ。桂林北駅は古い桂林駅と違って、新しい大型駅だが駅に入場するまでのチェックは厳しく、仕事熱心なおばちゃんの命令口調のボデイチェックには頭にきた。局部まで触ろうとするので私は大声で怒鳴りお互いにらみ合う。昨年旅した新疆ウイグル自治区と同じ様に、厳しい安全チェックだった。こんな悪い応対が、観光客の桂林の印象を悪くしていることを、彼らは全く理解していないし、意にも介さない。私は憮然とした気分で広い待合室で南昌行列車を待つ大勢の乗客と時間をつぶす。

左上・右上：桂林・漓江下りの風景
左中：船上からの風景と筆者
下：九龍戯水

【7 月 31 日】山水画そのままの景色が目の前に広がる世界複合遺産「黄山」

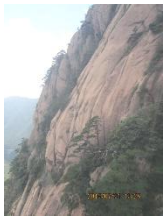
今日は黄山市（安徽省南部）から山水画を思わせる景観が広がる仙境の地・世界複合遺産「黄山」に行くために、バスターミナルに向かう。私は一番バスである 6:30 発のバスで行きたかったが、老街からターミナルへ行くバスがなかなか来ず仕方なく 7 時のバスになったが、そのバスに乗り込むと、昨日世界遺産・安徽省の古村落を一緒に

廻った大学生の楊さんが同乗していた。彼は6:30発で行くと言っていたが、寝坊したとの事。市内から黄山まで約80㎞の道のりで8時半に着く。

黄山は中国10大風景名勝のひとつに数えられる景勝地、古代の伝説上の帝王、黄帝（こうてい）がここで仙薬を調合し仙人になったという伝承から、唐の玄宗皇により747年に「黄山」と改名された。

黄山は黄山四絶（奇岩、奇松、雲海、温泉）で知られる山岳風景区で、1800ｍを越す山が３座、そして70の峰からなる一大山岳地帯で、その中に切り立った落差900ｍもある岩峰や雲海、青松がおりなす景観は山水画の世界を思わせる。その黄山の風景は900年前の南宋時代（1127～1279）黄山派の筆一本で描く水墨画家達の創作意欲を掻き立ててきた。なぜ黄山が水墨画のモチーフになったのか？それは水墨画の魂である黄山が産んだ文房四宝（ぶんぼうしほう）である硯、墨（松煙墨）、筆、紙（墨をよく吸い千年以上持つ画仙紙）があるからである。また唐時代の大詩人である李白（701～762）を始め、多くのの詩人が2万以上の漢詩を読んでいるという。黄山の雲海を見て山は動くと詩人達は詠っている。
日の出や夕焼けも素晴らしいと聞いているが、私は今回バスやロープウェイを利用して登る日帰りで残念ながらお目にかかることはできなかった。

黄山への登り口は2つあり、彼は雲谷寺から私は慈光閣から登ることにして別れる。私は大きなバッグをミニバス駅に預けロープウェイ駅まで向かう。問題の入山料は230元（4600円）。しかし私は幸いなことにここも70歳以上は無料の特典を得る。しかし歩いて登る時間もなく、片道3kmで10数分なのに運賃が90元と高い玉屏ロープウェイに乗らざるを得ず、下りも含め3600円も払わざるを得なかった。しかし1986年にできたロープウェイで、誰でも1500ｍの黄山にすぐ登ることができるようになり、年間300万人以上の観光客が訪れるビッグな観光地となっている。中国人にとって誰でも登りたい山で、黄山に登るのは「仙人になれる」という言い伝えがあるからで、ただの観光ではない。私は玉屏駅から標高1810ｍの天都峰、標高1864ｍの黄山の最高峰である蓮花峰に登る。今日は平日なので観光客もそんなに多くなく混雑を気にせず自由に登ることができた。



左上：黄山ロープウェイ駅、
右上：ロープウェイの中で筆者
中左右、下：黄山の諸風景

私の今日午後の予定は明るいうちに杭州にバスで行くことにしており、早めにロープウェイで下山し、ミニバスで温泉区にあるバス駅に行く。しかし麓に着くと今朝降りた駅と違う。朝バス駅に荷物を預けておりそこまで行かざるを得ない。インフォーメーションデスクに行き聞くと、今朝降りた駅は3㎞先だという。お宅のバスで杭州まで行きたいというと、少し待てと男性を呼び彼の車に私を乗せて往復してくれた。杭州行バスは15:30で、明るいうちに杭州に着けばよいがと心配しながら乗車する。高速道路でかなり飛ばしたが220㎞先の杭州市には19時に着く。しかしすでに暗くなり、路線バスと徒歩で予約している宿まで、30分後何とかたどり着く。明日昼に会う約束をしている梁さんご夫妻に電話して待ち合わせ時間の11:30を確認する。その後、近くの店に夕食を取りに行く。

杭州市は浙江省の省都で人口は703万人で世界遺産・西湖（せいこ）で知られる風光明媚な古都

だ。町の歴史は2200年以上も前に遡り、秦の始皇帝がここに銭塘県を設置したのが始まりとされる。後に杭州と北京を結ぶ京杭大運河（世界遺産）が開通したのを機に発展。9～10世紀には呉越国、12～13世紀には南宋の首都となり、中国六大古都のひとつとなっている。13世紀末の元代に杭州を訪れたマルコ・ポーロはその都市の人口90万という規模と繁栄ぶりに驚嘆し、杭州を“地上の楽園”と称えている。

【8月1日】宋代から続く中国随一の景勝地・世界遺産「西湖」と西湖のほとりに広がる風光明美な町杭州

朝6時から宿の近くにある**世界遺産「西湖」**に歩いて行き、湖岸の西側に10分ほどで着く。早朝とあって観光客は少なく、主に地元の人達が西湖（せいこ）の周りで、グループ別に太極拳やダンス、麻雀で楽しんでいる。私もゆったりした気分で西湖の周りを散策する。風光明媚な西湖は周囲約15㎞、中国十大風景名勝のひとつに数えられ、「西湖十景」に代表される観光スポットだ。私はその中の曲院風荷（蓮の花を観賞する名所）、平湖秋月、蘇堤春暁（北宋の詩人・蘇東坡（そとうば）が知事だった1090年に築いた西湖を南北を貫く28㎞の堤防）や白堤（はくてい）（唐の詩人・白居易（白楽天）が築いた約1㎞の西湖最古の堤）、西冷印社などを見て回る。朝の7時半には観光客も増え始める。

西湖は古くから蘇東坡（中国北宋時代の政治家、詩人、書家・1037～1101）や白楽天などにより多くの詩人に詠われた杭州の名勝だ。私は白楽天（字名）の本名が白居易（772～846）で800年、29歳の時科挙の進士科に合格した優秀な役人で杭州の役人時代（刺史）、白堤を築いたとは全く知らなかった。白居易の記念碑が西湖に岸辺に立っていたのを見て初めて知った。白居易の詩は現在日本でも愛好されているが、平安文学に多大な影響を与え、菅原道真の漢詩が白居易と比較されたことや、紫式部の源氏物語が白居易の「長恨歌」から影響を受けていたり、清少納言の枕草子など当時の貴族社会に広く浸透し影響を与えていたことを知る。

中国には官僚になるための厳しい**科挙制度**があり、その科挙とは儒教の経典である「四書五経」から出題した漢字の使い方の試験で、内容は漢詩（漢字を正確に発音できるかどうかのテスト）と如何に古典を丸暗記しているか文章を書かせるもの。科挙の試験は官僚同士のコミュニケーション能力を見ているのであって、その人に立派な政策があるか、国の将来を考えているか、または新しい事を考える能力があるかとは何の関係も無い試験、つまり漢字の使い方だけの試験だとの事。だから白居易等の詩人が科挙試験に合格した事は理解できる。

■科挙―壮大な官吏登用試験（598年～1905年・隋から清末の時代まで、約1300年も行われた官吏登用試験）

漢代に制度化され、隋朝の楊堅（文帝）が初めて導入した官吏の登用試験。科挙は時代とともに継承され、清代には複雑にして壮大な試験に発展していった。まず、地方の県ごとに行われる県試（14歳以下の少年が対象で、別名童試）に合格したら府試を受け、さらにその合格者は院試を受け、これに合格して初めて科挙の本試験を受ける資格ができ、官吏の末席として生員の身分となる。生員は学力判定試験を受けて淘汰され、科挙の第一次試験の郷試を受ける。郷試の合格者が、北京で行われる科挙の本試験である順天会試に臨めるのである。この順天会試の合格者が進士登用で、保和殿で行われるのが順位を決定する殿試となる。科挙の競争率は非常に高く、最難関の試験で会った進士科の場合、最盛期には約3000倍に達する事もあったという。最終合格者の平均年齢もおおむね36歳前後といわれた。

上・中：杭州・世界遺産「西湖」湖岸西側の早朝風景
下：白居易の碑

私は 10 時頃一度宿に戻りチェックアウトし次の宿である西湖東岸沿いの宿に路線バスで向かう。そこは杭州市の河坊街という旧市街の繁華街の一角で観光客に人気がある商業地だ。その宿で 4 年ぶりに再会の為に待ち合わせしたのは、ご主人が九州大学・大学院（福岡県・春日市）に留学していた時（2009～2011）、私がご夫妻に日本語を教えていた関係で、帰国後もメールの交換をしていた。ご主人の趙さんは現在 35 歳、浙江大学で海洋学の準教授。33 歳の奥さんも大学で事務の仕事をされている。立派な 4 歳の息子さんを連れて会いに来てくれた。奥さんは日本で日本語能試験の 1 級に合格されたが、中国ではほとんど日本語を使わないので、会話力は落ちていたのは仕方がない。私を山路先生と日本にいた時と同じように呼んでくれるので、私も日本語を教えるような調子で、ゆっくり優しい日本語で話す。中国では「先生」と言っても、日本の「～さん」と同じ意味だが、私には変わらない師弟関係が続いていると思うとうれしくなった。早速彼らは私を中華料理店に招待してくれ、豪華な昼食を皆で楽しむ。ご主人はこれが中国式の招待スタイルと言うが、私には今まで食べたことがない 8 種類の本格的な中国料理ばかりだった。食事をしながらも様々な話をする。浙江大学は中国の大学でもＡクラスの大学で、３～４万人の学生がいるとの事。中国の教育制度や中国で何故自然科学分野でのノーベル賞受賞者が少ないのか、日本との比較など話す。彼にはっぱをかける意味で、ぜひ将来はノーベル賞がとれるイノベーティブ（革新的）な研究をして下さいと激励する。奥さんの梁さんには、ぜひ二人目の子供をと言うと苦笑いをされていた。3 時間程涼しいレストランで食事と会話を堪能して外に出る。日差しは強く気温は 38 度位とのこと、アルコールも入っていたので、私は少し休みたくここでご家族と別れ宿に戻る。彼らは別れ際にお土産として私にと立派なお茶を頂くが、お土産をあげるのも中国式らしく、私は日本から持参した私のこれまでの紀行記をコピーした DVD をお土産として渡しただけだった。私は宿でしばらく眠り夕方薄暗くなってから、河彷街の繁華街に出かける。凄い観光客の人波で夕食時でもあり各店とも客の呼び込みが凄く、中国の迫力あるエネルギーを感じた。

■中国では夫婦別姓

日本では民法 750 条で夫又は妻の氏を称する夫婦同姓と定められているが、中国では私の友人である大学の先生夫妻も別姓で、子供の男の子は主人の名前がつけられていた。なぜ夫婦別姓なのか調べると。中国では儒教の思想により、古い習慣に従い女性は嫁いでも一族のものとして認められず、嫁は家族ではないという考え方があり、家族の中で嫁だけが他人で別姓であり、その子供の姓は父親の姓を名乗るという。妻は後継ぎの男の子を産めば「後継ぎの母親」になり居場所ができ、女の子が生まれても「子供がいない」といわれるとの事。日本では、現在夫婦別姓の民法改正が議論され「夫婦別姓」は進んだ考え方と考えられているが、中国や韓国の夫婦別姓は女性蔑視の考え方から来ている。

左上：杭州・趙さんと梁さん家族と、右上：各種ご馳走
左右下：杭州・河坊街の夜の風景

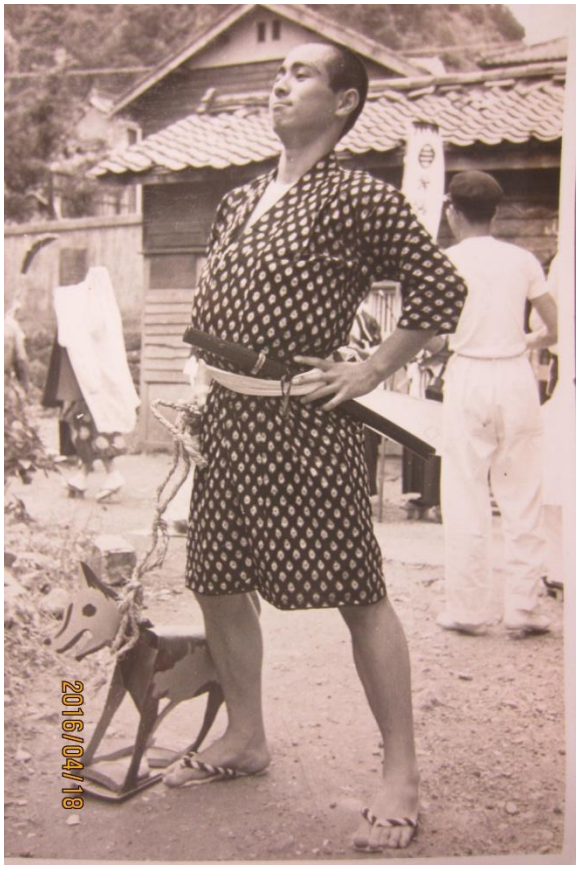
エピローグ

私はこの５年間だけでバックパックスタイルの１人旅で現地の移動距離は地球を約２周したことになる（日本―現地の飛行距離は除く）。若い時からの海外旅行を加えると地球を何周した事か。そして世界の大半を廻り、様々な地域や国に行き、様々な国の人達に出会い、友人になり、そしていろいろな経験をした。この５年間は私の人生で一番勉強して眞の知識を得た充実した時間だったかもしれない。世界が私の手の中にあり、私は私達人類が、人類の文化や地球の自然を過去・現在・未来へ大切な宝物として守り、未来へ引き継いでいくべき全人類の共有の財産・宝物で、顕著な普遍的価値を持っていると世界が認め保護に努めようとしている多くの世界遺産を自分の足で訪問してきた。そこは地球の人類の過去の歴史的遺跡・景観・自然など人類が共有すべき「顕著な普遍的価値」を持つ、素晴らしい所で、私の知識をどれだけ増やしたことか。

しかし地球はまだ広い。まだ見ぬ未知の大陸が世界遺産が私を呼んでいる。私の体が思うように動ける間は、また好奇心旺盛な間は、また経済的に許せる間は、私は世界遺産の旅を続けたいと思う。その為にルーティンワークであるポスティングやシルバー人材センターの仕事で汗を流し、健康増進に努め旅行費捻出に邁進したいと思う。そうすることによって私の毎日は充実し、人生の目的を達成するだろう事を強く感じる。

思い出の写真と一言

わたしは誰でしょう？



今を去ること６０年前（１９５５年）、故郷の長崎県立長崎東高等学校
２学年時の運動会での仮装行列に参加した折の姿である。
当時は西郷隆盛に憧れ、南洲翁の名言「敬天愛人」に深く感銘を受けていた。
今は別の名言「児孫のために美田を残さず」を実行している、と言いたいところだが実情は残そうと思っても残せないのである。
だが結果的には南洲翁の言葉通りの人生を送っていることになっている。
愛でたし愛でたし！

顧問　１級販売士　福生　和彦

会報『販売士』より

一般社団法人日本販売士協会が定期的に発行している会報「販売士」に当協会でご活躍の方々のメッセージが掲載されています。

2016 年 3 月発行（通巻 20 号）には栗川会長をはじめ 3 名の方が登場されましたので、ご覧ください。

巻頭『ＷＡＶＥ』：栗川久明会長
「地域販売士協会のない県の登録講師のみなさんへ」

WAVE

地域販売士協会のない県の登録講師のみなさんへ

福岡販売士協会　会長　栗川　久明

福岡販売士協会は平成14年４月に設立し、今年15年目を迎えます。

当協会の運営は年次総会で年間活動計画を提示し、全体会合の定例開催を定着させています。４月の「年次総会」以降、６月に「春季流通施設見学会」、７月に「夏季研修会」、８月に「納涼ビアパーティ」、10月に「秋季研修会または九州販売士懇談会」、１月に「新春懇談会」を毎年開催しています。

また、協会設立当初よりホームページを開設、会報「販売士・ふくおか」を年３回発行して協会活動状況を情報発信しています。全体会合トピックス、会報全文も掲載しておりますので、「福岡販売士協会」のホームページをご覧いただきたいと思います。全体会合の「年次総会」、「夏季研修会」、「秋季研修会または九州販売士懇談会」では講演会を組み入れ、できるだけ会員に講師になっていただいています。

当協会の会員は、平成14年設立時80人でスタートし、16年の96人が現在までのピーク、22年には72人まで減少しました。その後、ホームページ、会報、チラシ等で会員獲得努力を重ね、27年には88人まで盛り返しました。

当協会は九州各県に支部を設立しています。これは宮崎の支部長の「販売士協会を設立したいがどうしてもうまくいかないので、『福岡販売士協会・宮崎支部』として活動させてほしい」という要請に応えたものです。「体制を強化できたら、いつでも販売士協会として独立してもらって結構です」という条件付きでした。平成20年宮崎支部、24年大分、熊本、鹿児島、佐賀支部、26年沖縄支部を設立しました。支部長には各県の登録講師にお願いしました。

当協会会員の特徴は、88人中69人（78％）が１級販売士ということです。また、平成27年６月現在、登録講師59人中30人（51％）に当協会に入会いただいています。

地域販売士協会のない県の登録講師の皆さん、近くの地域販売士協会の組織を借りて支部を作り活動開始してほしいと願っています。その結果として、全国各県に販売士協会の組織網ができたら素晴らしいと夢見ています。

【販売士　2016 年 3 月号より転載】

前号（通巻第 19 号）に引き続き、登録講師による「リレートーク」が連載されました。

福岡支部：冬木繁雄氏（長崎販売士協会副会長）　大分支部：溝部敏勝氏（大分支部長）

登録講師 リレートーク 第11回

登録講師限定のリレートーク。
今号は冬木さんと溝部さんにバトンが渡りました。
講師経験豊富なお 2 人のためになるトークをご一読ください。

冬木　繁雄（長崎県）

私は、現在小売業に従事しており、長崎商工会議所では 2 級・3 級リテールマーケティング（販売士）検定試験受験対策講座と資格更新時の講師を担当させていただいています。

私は、講義を行う際、受講者をお客様ととらえ、お客様起点に立つことで講義をしてまいりました。講義の目標は、受講者の講義参加目的＝合格（感動体験）の達成です。

まず、講義で教えるということは、講師自身の知識や知恵の再確認であり、教えるタイムスケジュール（時間配分）の整理ができていないと講義内容が不十分となります。重点個所で時間をかけるところとそうではないところを明確にすることが大切です。講師を始めたころ、時間配分がうまくいかなくて、気持ちが動揺してかなり苦労した経験があります。

次に最近のテキストは、実務の要素がかなり含まれており、テキスト更新の都度その傾向が強まっていると感じます。また、専門用語も増えています。講師は、テキストの文章をただ読むだけではなく、自らのフィルターを通して平易な言葉でわかりやすく説明することが大切です。そこで比喩（ひゆ）を交えるなど具体的にイメージできるように解説します。また、専門用語を目で確認できる場合は、例えば「ゴンドラのレイアウトはA店のB売場を参考にして下さい」と言います。

情報収集についてですが、私は最低週 1 回大型商業施設の視察に行きます。売り場は、歳時記やオケージョン・催事などで変化をします。また、ブランドの入れ替え、ゾーニング・レイアウトの変更などもあるので現場からの情報は大切です。また、私は、同業異業態やシンクタンクの方とパイプを作って情報交換を行っています。小売業の現状を多角的に見ることで過去・現在の各店の状況、消費者の購買動向が把握できます。そこからに公表できる部分を講義の際に具体的に取り込むことにより、受講者への理解度アップを狙えます。

講義中は、受講者の目線や表情を意識することも大切です。理解度が表情に表れるからです。また、時々確認の言葉をかけることも大切です。講師自らも過去の試験問題（2～3 年前）を解いておくことをお勧めします。傾向が把握できます。

以上、少しでも新任講師の参考となればと思います。

次号は宮内知明さん

溝部　敏勝（大分県）

「販売は企業経営の根幹」をモットーに、中小企業や各種団体、個人事業者を対象に経営コンサル業務や、大学、高専、専門学校で非常勤講師を務めています。

私は長年半導体の製造にかかわりました。販売士資格取得のきっかけは、「反対教育」の必要性を感じたことです。当業界は好不況の波が激しく、製造工場、営業間で利害が対立し、あつれきが生じることがありました。販売知識を習得し両部門の橋渡し役、製販会議のリード役となること、また販売機会ロスと在庫ロス、人、設備投資ロスのミニマム化を実現すべく挑戦しました。

現在、販売士資格講座の講師もしています。自己流の講義ポイントは、次の 4 項目です。

① 生徒がやってはいけないことを伝える。マラソン練習の世界に「1 日休むは復調 2 日を要す」の戒め言葉があります。販売士講座も同様、受講生にはいかなる事情あれ「1 日休むな！毎日数分でよい、テキスト見よ」を繰り返し言い続けています。

② 森を見てから木を見る。販売業全体を俯瞰して理解を早める。講義初日は資格制度、資格取得メリット、テキスト 5 科目濃縮版などパワーポイントを使って授業を進めます。販売士テキストに記載されてない最新や裏情報、関連トピックス、自らのショッピング経験など、興味を沸き起こさせる教材を目指します。

③ 見える化に努める。計数管理は図やQC手法を、売り場づくりは写真やイラストなどで視覚に訴える。右脳教育多用で記憶力が高まることを期待します。

④ バラツキと中心線の関係を考慮する。受講者全員合格が理想です。しかし販売士講座は聞き慣れない専門用語、ボリュームの多さ、短期間挑戦で疲れ果て、興味を持てず脱落する人もいます。能力正規分布表を作成し、中心線から左半分受講者の得点アップ策を得意科目中心に個別に練ります。

今後の目標としては、理系出身者を含めた裾野の拡大、既存資格者の上級取得意欲をかきたてるチャレンジ精神の醸成、これらにより有資格者の量拡大、質向上に貢献できれば本望です。

次号は菅原潤一さん

【販売士　2016 年 3 月号より転載】

大募集！

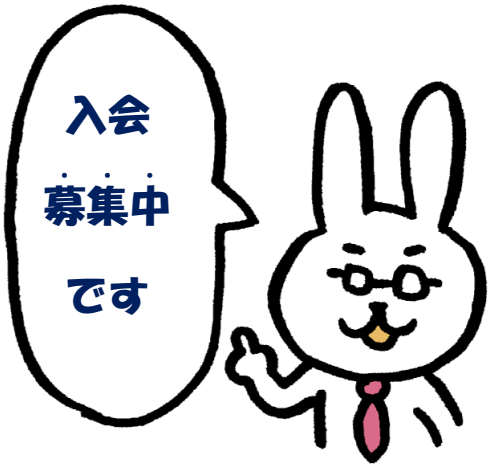
「思い出の写真と一言」と
「会員自己紹介文」を募集します

H28 年 2 月発行の会報「販売士・ふくおか」第 42 号より掲載しています！
みなさんの寄稿をお願いします

♪ **投稿時期**：随時受付
（8 月末まで受付分は 9 月号に掲載、1 月末まで受付分は 2 月号に掲載します）

♪ **文字数**：１，０００～１，５００文字程度（会報１ページ分）

♪ **提出先**（お問い合わせ）
事務局：栗川　久明
（fukumae@zenno.jp）



＜編集後記＞
先日久しぶりに大阪へ行きました。新幹線は事前予約の EX-IC カードでチケットレス乗車、市内地下鉄やコンビニはニモカ利用、と財布（現金）を全く出すことなく一日過ごすことが出来ました。路線図を目で追って券売機で乗車券を購入する光景も将来的には見られなくなるのかも…。　　次号は 9 月発行予定です。皆様の投稿お待ちしています。（N）

□□□　お知らせ　□□□

◆設立 15 年記念夏季研修会

日　時：平成 28 年 7 月 16 日（土）14:00～17:30
場　所：福岡商工会議所 401 会議室
講　演：「福岡販売士協会と異業種交流」
～公益法人医師会事務局奮闘記～

◆福岡販売士協会のホームページ

福岡販売士協会：http://www.farmmc.jp/
福岡販売士協会のこれまでと現在の活動状況がよくわかります。
会員のＨＰをリンク欄に貼ります。ご連絡下さい。

◆会報の原稿を募集しています

・5 月・9 月・2 月に発行、締め切りは前月末
・題名自由、1,000～1,500 文字位、顔写真添付
・パソコンで、Ｗｏｒｄやテキストメモなどに入力したものをメールで下記に送信ください。
・手書き原稿郵送でも OK です
栗川　久明（事務局）：fukumae@zenno.jp

◆ご意見は下記の連絡先までお願いします

○福岡販売士協会･会長　栗川　久明
〒810-0055　福岡市中央区黒門8-38-402
TEL/FAX：092-725-6200
携帯電話：090-7753-8018
Eメール：fukumae@zenno.jp
○福岡販売士協会･宮崎支部長　岩切寛文
Eメール：
teliosu.kitudoi@miyazaki-catv.ne.jp
○福岡販売士協会･大分支部長　溝部敏勝
Eメール：wbhbb435@ybb.ne.jp
○福岡販売士協会･熊本支部長　白石慎二
Eメール：s-shiraishi@smc-office.com
○福岡販売士協会･鹿児島支部長　宮内智明
Eメール：t.miyauti@hb.tp1.jp
○福岡販売士協会･佐賀支部長　村口隆志
Eメール：mura@yacht.ocn.ne.jp
○福岡販売士協会･沖縄支部長　志村幸司
Eメール：k.shimura0212@gmail.com

福岡販売士協会・現況報告

会員状況（平成２８年５月１日）

正　会　員		88 名
	１級販売士	69 名
	２・３級販売士	16 名
	登録講師	３名
賛　助　会　員		３社
支部別内訳	福岡	62 名
	宮崎	２名
	大分	７名
	熊本	３名
	鹿児島	７名
	佐賀	４名
	沖縄	３名

福岡販売士協会役員体制（平成 28 年～29 年度）
会　長：　栗川　久明（事務局兼務）
副会長：　廣瀬　紀子（広報担当） 副会長：　中村　純治（研修担当） 副会長：　小関　芳紀（企画担当） 副会長：　八尋　晃仁（総務担当）
理　事：　岡野　利哉（研修委員長） 理　事：　毛利　裕之（研修副委員長）
理　事：　横山　修二（企画委員長） 理　事：　廣瀬　兼明（企画副委員長）
理　事：　西　　珠子（広報委員長） 理　事：　大串　雅一（広報副委員長）
理　事：　長沼　玲子（総務委員長） 理　事：　松尾　宏一（総務副委員長）
監　事：　森山　正夫 監　事：　箱森　哲則
顧　問：　福生　和彦 顧　問：　濱村　昌男 顧　問：　渡辺　芳雄 顧　問：　高田　暢夫